

当院にて顎変形症の診断および治療を受けられた患者様へ

この度、東京歯科大学千葉病院において下記の内容について研究を行うこととなりました。
内容をお読みになりご理解いただけましたら研究にご協力くださいますようお願いいたします。

「三次元工学技術を用いた顎変形症治療における硬軟組織形態変化に関する検討」

1. [研究の目的]

患者様の硬組織(歯や骨)と軟組織について、顎矯正治療前後における比較検討を行います。これは診療時に撮影した画像資料を解析することにより、顎変形症の骨格形態と軟組織形態の関連性を検討し、顎変形症治療における術後形態変化予測を治療に反映させることを目的としています。

2. [対象となる患者様]

東京歯科大学千葉病院口腔外科において、2006年1月1日から2016年12月31日の間に顎変形症と診断され治療へのご承諾をいただいた患者様のうち、画像検査(エックス線 CT 画像や頭部エックス線規格写真撮影)を行った方を対象として、総数 50 名を予定しています。

3. [研究協力のお願]

ご協力頂けるかどうかは患者様の自主性に基づいた自由意志で決定されます。
治療のために採取した資料を使用されたくない方は、遠慮なくお申し出ください。
また、研究への協力をお断りになったとしても診療に際して不利益を被ることは一切ございません。

4. [成果の公表とプライバシーの保護]

歯科臨床および歯科医学研究への寄与を目的として、本研究の成果を学会、論文等で公表することがあります。その場合には、患者様のプライバシーや個人情報が漏出しないように、個人が特定されない形でデータ管理を行います。本研究においては、診療記録と画像診断の資料(単純エックス線写真、エックス線 CT 画像)を用いて行い、患者様の氏名や顔写真・口腔内写真を使用することはありません。

5. [研究の倫理審査]

本研究は東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

6. [質問等]

本研究にご質問やご意見のある方は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

東京歯科大学千葉病院口腔外科

研究責任者 神尾 崇

研究者 柴原孝彦, 高木多加志

翁長欣子, 末石研二, 西井康

連絡先

043-270-3901